

普及活動情勢報告（令和6年3月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

集出荷組合「ぼたなす倶楽部」が発足 ～日南・大平集落活動センター「ひなたぼっこ」～



臨時役員会の様子

2月20日、室戸市日南・大平集落活動センター「ひなたぼっこ」は伝統野菜ぼたなすの集出荷組合設立に向けて、役員6人が検討しました。その結果、集出荷組合をつくることとなり「ぼたなす倶楽部」と命名しました。

農業改良普及課室戸支所は、事前に関係機関と連携して出荷組合の仕組み作りについて協議を重ね内容を提案しました。

役員からは「集出荷事業が軌道にのれば、新たな担い手候補も来てくれるかもしれない」と前向きな意見も出ました。

室戸支所は、引き続きぼたなすの栽培技術の向上や「ぼたなす倶楽部」の運営を支援していきます。

J G A P 認証取得に向けて現地確認！ ～安田ミネラル会～



倉庫で保管状況を確認する農家と普及指導員

令和6年3月5日、（株）安田ミネラル会は、ナス栽培におけるJ G A P団体認証取得に向けた勉強会を開催し、倉庫や現地ほ場におけるリスク確認に農家5名が参加しました。

農業改良普及課は、農機具や資材等を保管する倉庫やハウス周辺環境のリスクについて、参加者と確認を行うと共に対策等について意見交換を行いました。

参加した農家からは、倉庫での肥料や農機具などの保管状況を確認し「整理整頓がよくできている」、「機械もきれいにしている」などの声が聞かれました。また、現地ほ場では、ハウス周辺の危険な場所や加温に使用する重油が漏れ出た時の対策などを参加者で確認しました。

農業改良普及課は、引き続きJ G A P認証取得に向けた取り組みを支援します。

環境データの比較でナスの黒枯病発生要因をつきとめよう ～中芸地区ナス現地検討会～



養液栽培ほ場で説明する普及指導員

3月5日、7日に、中芸地区ナス現地検討会（養液栽培・土耕栽培）が開催され、のべ40名の生産者が参加しました。

11月に巡回した同じほ場をまわり、厳寒期を経た後のナスの変化を確認しました。農業改良普及課からは、S A W A C H Iグループでハウス内温湿度を比較すると、黒枯病発生要因や対策について検討できることを説明しました。参加者からは、換気温度の見直し等で黒枯病が発生しにくい環境を整える改善案を出し合う様子が伺えました。

農業改良普及課は、今後も現地検討会等でS A W A C H Iを活用した管理改善方法などを紹介し、収量・品質の向上を支援します。

より良い栽培暦を目指して ～安芸地区園芸研究会栽培暦検討会～



意見を出し合う普及指導員

3月13日、JA高知県安芸地区と農業改良普及課で「安芸地区園芸研究会栽培暦検討会」を実施しました。安芸地区園芸研究会では安芸地区で栽培されている施設野菜の栽培暦を作成しており、毎年、営農指導員と普及指導員で内容を見直し更新しています。今回は令和7園芸年度の栽培暦の内容を検討し、生産者にとってより使いやすい栽培暦となるように意見を出し合いました。見やすい農薬一覧表や実証ほで成果があがった技術を新たに追加する予定です。

農業改良普及課は今後も関係機関と連携し、生産者の栽培技術の向上を支援します。

うどんこ病どうやって抑える？ ～芸西ピーマン部会勉強会～



うどんこ病の発生状況を説明する普及指導員

3月13日、JA高知県芸西支部ピーマン部会は勉強会を開催し、生産者13名が参加しました。

農業改良普及課はうどんこ病の発生状況とこなでん等を利用した対策の事例を共有しました。発生していないほ場はハウス内湿度が高いことや循環扇による送風により、うどんこ病が発生しにくい環境作りがされていました。

参加者からは「こなでんをうまく使ってみる」「殺菌剤の選択を工夫してみる」との声が聞かれました。

今後は環境データから病気が発生する条件を分析し、病気の抑制に向けた支援をしていきます。

見えてきた「PCお竜」の特性と栽培管理について ～芸西ナス部会勉強会～



PCお竜の管理状況を確認する農家

3月19日に芸西ナス部会現地検討会と勉強会が開催され、部会員23名が参加しました。現地検討会では「PCお竜」の整枝について、側枝を切り込む時期や程度、温度管理について生産者間で話し合う様子が見られました。農業改良普及課からは、現地実証や生育調査結果を踏まえて、「PCお竜」の特性や整枝管理等について情報提供しました。

農業改良普及課は、今後生育特性や栽培管理等の調査を進め、「PCお竜」の安定多収技術の確立に向けて、農家とともに取り組みを進めます。